

回復期と訪問リハビリの連携

豊田えいせい病院の診療技術部は、回復期リハビリと訪問リハビリの連携に力を入れています。退院後、様々な環境（リハビリの時間・介護者・生活環境）が変わり生活機能が低下してしまう生活混乱期が訪れる場合が多いと言われています。

回復期病棟退院後も住み慣れた自宅で安全で安心した生活が行うことができるように退院後のフォローも豊田えいせい病院にお任せ下さい。

【取り組み】

- ①訪問セラピストと回復期セラピストが同じスタッフルーム
- ②退院後に当院訪問リハビリを利用する場合は初回訪問に回復期セラピストが同行
- ③訪問セラピストが回復期リハビリ病棟と兼務し入院時からリハビリ介入
- ④家屋調査時の生活視点を訪問セラピストから回復期セラピストにアドバイス
- ⑤退院後の訪問リハビリの様子を回復期スタッフに伝達しフィードバック



入院中の家族調査後に
訪問セラピストが助言

訪問セラピストが
回復期セラピストに在宅の
視点について勉強会を開催



豊田えいせい病院
リハビリ新聞



2019年
6月25日
第2号

義肢装具士が週2回来院

豊田えいせい病院には現在、東名ブレース株式会社の義肢装具士が週に2回（水・金曜日）来院されており、義肢や装具の作製・修正・適合チェックをしています。

例えば短下肢装具の寿命（耐用年数）は2～3年と言われています。装具と身体が合わないと歩行などの基本動作にも影響が及びます。

在宅で生活する利用者さんも義肢装具外来での対応も行っておりますので、義肢や装具でお困りの際は、まずは豊田えいせい病院代表の電話番号（0538-34-6110）にお問い合わせ下さい。



義肢装具士とリハビリ専門職が
話し合い、義肢の作製を検討

診療技術部 部長の紹介



診療技術部 部長 山内宣佳（作業療法士）

こんにちは部長の山内です。私が当院に入職した14年前はリハビリ専門職が4名しか在籍していませんでした。ここ10年で施設が7つ増え、リハビリ専門職の数は15倍になりました。

色々な苦労がありましたが、新人教育や組織作りなどみんなで考え、悩みながら進めてきました。入院から退院、退院後の生活までつなぐリハビリテーションをサポートできるようになりました。

これからも、豊田えいせい病院の特長を生かしたリハビリテーションが提供できるよう、頑張っていきます。



回復期病棟では
日祝を含み365日
リハビリをします

豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科 TEL : 0538-34-6123 FAX : 0538-34-6231

療 養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通

通 所リハビリ科 TEL : 0538-34-6223 FAX : 0538-34-6222

訪 問リハビリ科 TEL : 0538-34-6137 FAX : 0538-34-6231